

低温室 (4℃・-20℃) のご利用案内

低温室のご利用には、事前連絡が 必要な場合 と 不要な場合 があります。

事前連絡が必要なご利用

● フリーザー類の故障による、物品（試薬やサンプルなど）の一時保管

まず担当者にご連絡ください。

担当者が保管場所を指定しますので、その場所に物品を置いてください。

物品には「連絡先」カードを貼付してください。

※ 一時保管であり、長期保管はできません（3ヶ月程度）。

※ 上記理由以外の物品の保管は基本不可ですが、担当者にご相談ください。

● 連絡先：先進機器共用推進部

（担当者） 宮城 ・ PHS : 2867

・ E-mail : amiyagi@hama-med.ac.jp

事前連絡が不要なご利用

● 低温処理が必要な実験（抗体反応など）のための利用

作業は実験台上で行ってください。棚上で作業はしないでください。

● 上記のために必要な機器（シェーカーなど）の持ち込みと使用

- ・ 機器を持ち込んで使用する際は、実験台上で使用してください。棚上では使用しないでください。

- ・ 原則、持ち込んだ機器は使用后、その都度回収してください。

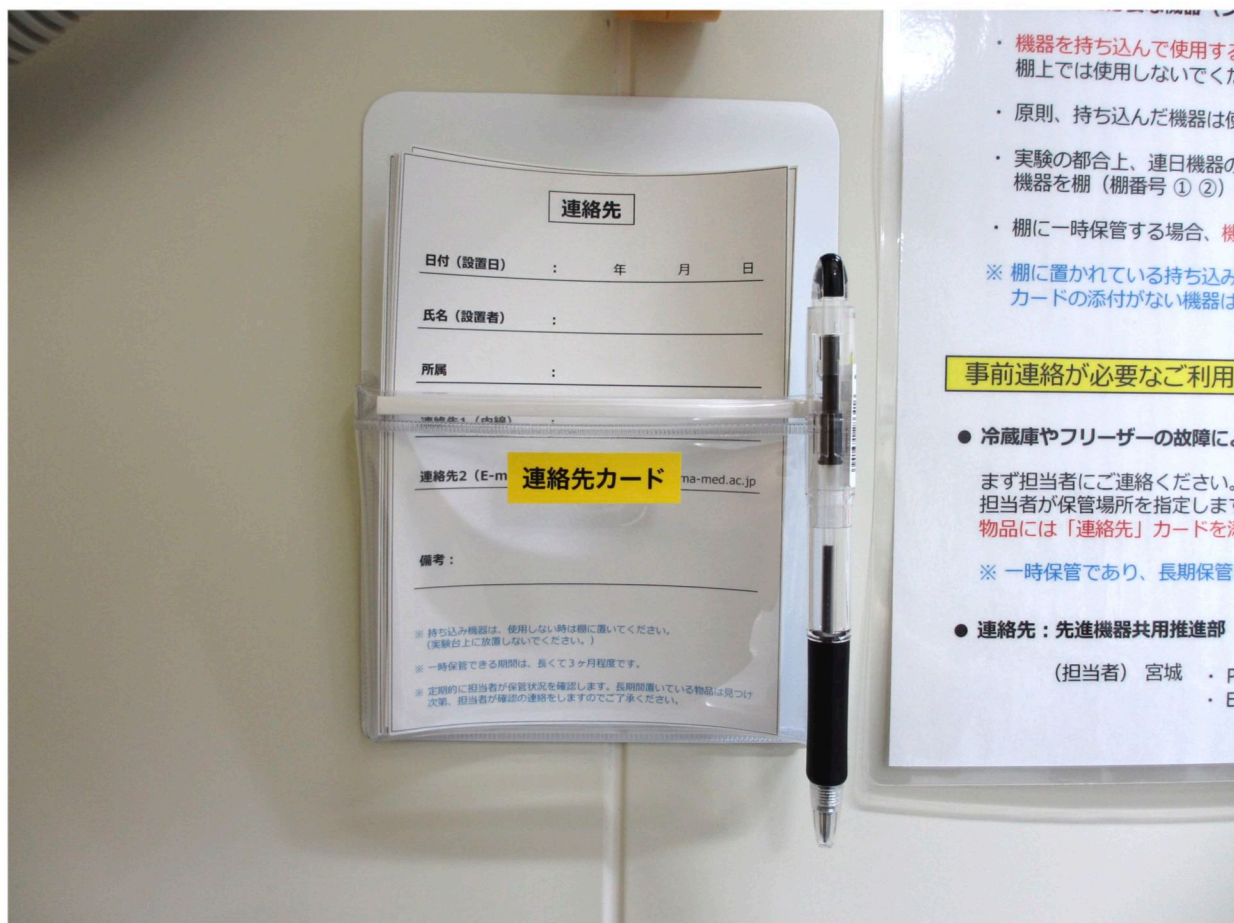
- ・ 実験の都合上、連日機器の持ち込みが必要な場合においては、機器を棚（棚番号 ① ②）に一時保管することが可能です。

- ・ 棚に一時保管する場合、機器に「連絡先」カードを貼付してください。

※ 持ち込み機器の一時保管も、長くて3ヶ月程度です。

※ カードの貼付がない機器は通告なく撤去します。

「連絡先」カード設置場所



7 階共同実験室（奥：709 室）：プレハブ型 低温室（4℃・-20℃）配置図

